

内臓モビライゼーション
臨床報告 9月度
【小腸】

結果例: 著効◎、有効○、やや有効△、
無効▲、悪化×

患者	日付	施術内容	効果	施術詳細
HSさん 女性90	9月14日	小腸モビライゼーション	▲	下肢挙上運動に軽快感が若干みられる程度。
	9月21日	〃	—	特段の症状がなく比較出来ず。
	9月28日	〃	—	前日にひどい眩暈に襲われたという事で、それに対応するためモビライゼーションは行わず。
		〃		
YSさん 女性89	9月12日	〃	△	臥床位で臀部挙上するとき、臀部・大腿部の違和感が減少。
	9月19日	〃	△	前回同様の動作で、大腿部の軽快感がかなり向上。
	9月26日	〃	△	大腿部と合わせて臀部違和感が改善。臀部挙上も+5°位向上。
YGSさん 女性77	9月14日	〃	○	臥床位で下肢挙上角度が10°ほど改善(右)
	9月21日	〃	△	前回同様で下肢挙上角度が改善するも、改善がやや鈍い状態でしたので腎臓モビライゼーションを合わせて行うと大幅に角度が改善。(20°)
	9月28日	〃	△	結果としては○と言えるが、前回同様、小腸モビ後は挙上が10°改善、腎臓モビを続けて行うと30°程度向上と言う事で単独施術ではやや不足。

モビライゼーション・【内蔵モビライゼーション：小腸】まとめ

前回同様、この技術は今までの整形外科的技術とは異なり、間接的なアプローチとなります。今回も、客観的に見ると誤解を受ける可能性もあるため、人選も同様としました。

小腸モビライゼーションの場合、実感としては腎臓モビライゼーションほどの効果が得られませんでした。

近い効果、つまり同じ様な部位にそれなりに反応や結果が得られるものの、腎臓モビライゼーションよりは劣る結果となってしまいました。

そのため、小腸モビライゼーションの後、腎臓モビライゼーションを行うことがあり、その時の効果は高いものが得られました。

2種類の施術を合わせたための効果なのか、後から行った腎臓モビライゼーション単独の効果なのかは不明です。今後、そのことについても検証していきたいと思います。